



セカンド・ラ
イフ～28の



タロウ

死。

「何か今日嫌な感じがする。。。」

その発言の意味はわからない。

後から聞いた話だが、俺は死の30分くらい前にそんな事を口にしていたらしい。当時の彼女が言っていた。

そして俺は死んだ。

全て後から人に聞いた話でしか無いが、

俺は仕事の帰り道。

原付で片道一車線の細い道を走っている時に、前の車を追い越そうと反対車線へ飛び出した瞬間。反対車線を走ってきたトラックと正面衝突し飛ばされた。らしい。

らしい。と言うのも俺はトラックとぶつかった瞬間から意識を失ってしまったから。後日聞いた話でしかない。

『♪プルルルルルル～プルルルルルル～・・・・・・・・♪ただ今留守にしております。御用の方は発信音の後にお名前とご用件をお話ください。ピーーー』

『〇〇警察の△△と申します。たろうさんのご自宅で宜しかったですか??たろうさんが交通事故を起こしまして今救急車で・・・』

(ガチャッ)

『もしもし、たろうの母ですが。』

どんなやり取りがあったのか詳しくはわからないが、救急車に運ばれ、意識不明で救急救命センターにいると言う事らしい。

ここからは後に聞いた話と推測を織り交ぜて話す。

母はすぐに兄弟に電話をした。

うちには兄と姉がいる。

『たろうが事故して運ばれた！！意識不明みたい！！すぐに病院行くから病院まで来て！』
そんなやり取りをしたのだろう。。。

【手術中】

ランプが消え、意識の無い眠った俺が担架で運ばれて手術室を出てきた。

『たろうー！！』

『たろうー！！！！』

俺の名前を叫ぶ母、兄弟。

突然たろうは25歳で1度目の人生を終えた。